



## < こんな時どうする 合併 >

合併は「経審」にとって得策なのでしょう。もちろん、合併は「経審」のためにするわけではありませんから、そんなことを考える必要性に乏しいのですが、少なくとも「経審」でマイナスに働いてもらっては困るのです。そうした意味で、経営内容重視型の企業は気をつけなくてはならないと先月号で申し上げました。そこで、ひとつの例として【表1】のA社、B社の合併について考えてみましょう。A社とB社は互いに資本関係も取引関係もないとします。A社は、A社単独ではP点が881点(現行制度で計算)です。このA社がB社を吸収合併したとします。合併が企業の経営にどのように影響するかは予測できませんので、一応、両会社の数値を合算したものを合併後の姿であると仮定して計算してみますと、P点は861点に下がります。もう少し詳しく内容を見てみますと、【表2】のように経営規模が大きくなりますので、年間平均完成工事高(X1)、自己資本額・職員数評点(X2)、技術力評点(Z)で点数が高くなっています。しかし、B社は経営内容が悪いので経営状況分析評点(Y)が大きく落ちてしまっています。

また、合併により多額の固定資産、有利子負債を抱え込むのは「経審」を乗り切る上では大きな障害になります。工事高や利益を見込めるときには、なんとか点数を維持できますが、いつもそうとは限りません。なるべく、身軽になって経営したいものです。

そこで、合併せずに建設業の営業譲渡で対応している会社も多いのではないのでしょうか。営業譲渡は、合併と同様に、完成工事高、経営状況、営業年数等を引き継げる一方、固定資産、有利子負債を合併のように包括的に引き継ぐ必要はありません。(注)建設業に関係のない固定資産等は取得しなくていいのです。

現行「経審」では、固定資産の取得は点数に大きくマイナスに評価されることは周知の通りです。合併においても将来を充分見据えて対応したいものです。

WISENET編集部 松村 清(税理士)

(注):「営業」の譲渡に該当しない単なる資産の譲渡であれば、譲渡人に対する企業評価の全部又は一部を譲受人に承継させるべきであると考えられなくなりますので、事前によく打合せをする必要があります。

【表1】

(単位:千円)

項目	A社	B社	合計
現金預金	54,100	10,000	64,100
完成工事未収入金	50,000	50,000	100,000
未成工事支出金	250,000	100,000	350,000
その他流動資産	40,000		40,000
固定資産	50,000	200,000	250,000
資産合計	444,100	360,000	804,100
工事未払金	57,800		57,800
短期借入金	70,000	150,000	220,000
未成工事受入金	150,000		150,000
未払法人税等	16,300		16,300
長期借入金	50,000	150,000	200,000
資本	100,000	60,000	160,000
負債資本合計	444,100	360,000	804,100
完成工事高	1,000,000	300,000	1,300,000
完成工事原価			
材料費外注費	575,000	172,500	747,500
労務費経費	225,000	67,500	292,500
完成工事総利益	200,000	60,000	260,000
販売費及び一般管理費	154,500	51,000	205,500
営業利益	45,500	9,000	54,500
営業外収益			
受取利息配当金	100		100
営業外費用			
支払利息	3,600	9,000	12,600
経常利益	42,000	0	42,000
税引前当期純利益	42,000	0	42,000
法人税住民税事業税	16,300	0(便宜上)	16,300
当期純利益	25,700	0	25,700
前期繰越利益	5,000	30,000	35,000
当期末処分利益	30,700	30,000	60,700
当期償却実施額	10,000	0	10,000
前期固定資産	60,000	200,000	260,000
前期総資本	444,100	360,000	804,100
前期工事高	900,000	300,000	1,200,000
当期前期とも全て土木一式	-	-	-
利益処分により社外流出なし	-	-	-
営業年数	16年	16年	16年
総職員数	21人	8人	29人
技術者	1級2人、2級5人、 その他7人	1級1人、2級1人、 その他4人	1級3人、2級6人、 その他11人
社会性	満点	満点	満点
二級経理事務士	2人	0人	2人

【表2】各評点の変化

評点	合併前(881点)	合併後(861点)
年間平均完成工事高(X1)	960	1,013
自己資本額・職員数評点(X2)	620	657
経営状況分析評点(Y)	955	703
技術力評点(Z)	840	902
その他の審査項目(W)	827	800

弊社100%出資子会社 **ワイズ公共データシステム株式会社** <経営状況分析申請> 受付中!!  
 詳しい資料請求はこちらまで **お電話<026-232-1145>** e-mail <[info@wise-pds.jp](mailto:info@wise-pds.jp)>

### 経審改正!平成18年5月1日より施行

X1評点の平均点を14点(総合評点換算では4.9点分)かさ上げ。各社のかさ上げされる点数は売上高により異なります。売上高が大きい会社ほどかさ上げ幅が大きくなります。防災協定の締結について、発注者と協定を結んだ業界団体が提出する活動計画書や証明書などを確認した上で、W評点換算で20点(総合評点換算で3点)を加点。

Wisdom 資料請求(無償) Wisdom デモ CD 希望(無償)  
 送信先宛名変更(右欄に変更後の宛名をご記入ください)  
 今後「Wise FAXNET」送信不要 今後「Wise FAXNET」はメールで希望  
 返信はこちらまで 0269-65-4745 (FAX)

資料・デモをご希望の方は、下記にご連絡先をご記入下さい。ユーザー様で前回登録時と変更のない場合には、貴社名とご担当者名、TELのみをご記入下さい。

貴社名	
ご担当者様	ご役職・部署名
TEL	FAX
今後メールでの送信をご希望される場合は下記にアドレスをご記入下さい。	
e-mail	